

ケイタケイ LIGHT シリーズ 1969←→2010

ケイタケイ's ムービングアース・オリエンツフィア LIGHT, Part 7

Diary of the field 創作畑の日記

(初演:1974年、ニューヨーク インターナショナルハウス・オーデトリウム。日本初演:2009年8月、東京)



私は足を痛めていた。動けない私の前に広がるのは畑だ。

畑へでて、身体をたがやしたい。種をうめたい。舞踊をそだてたい。

竹棒をたよりに、畑へでた。幻想を追う私がいる。——ケイタケイ

これはダンス？ 演劇？ それともパフォーマンス？

36年前にNYで創作初演。昨年あらたに誕生した、寓話のようにフシギで、躍動的な幻想舞踊!?

演出・振付:ケイタケイ

美術・舞台監督:河内連太 音楽:迫彰一郎 照明:清水義幸 衣装:ケイタケイ 制作:斎藤朋

出演:石田知生、大塚麻紀、奥本聡、角隆司、川原田瑞子、木室陽一、響子、吉岡紗矢、ラズ・ブレザー、ケイタケイ

5.18 tue 19:30 開演 東京公演 スタジオ・ムービングアース (小田急線豪徳寺駅下車)

5.23 sun 14:00 開演 白鷹公演 山形県白鷹町文化交流センター AYU:M(あゆーむ) 野外広場 (雨天決行)

5.24 mon 19:00 開演 山形公演 山形テルサ・アプローズ (山形駅西口前) ※開場はいずれも30分前

入場料(全自由席) 東京・山形:前売 2,500円/当日 3,000円(学生 1,500円/当日 1,700円) 白鷹公演はカンパ制

総合問い合わせ・予約 マルメロ tel 03-5627-7583 fax 03-5627-7584 e-mail: movingearth1969@gmail.com

山形公演チケット取扱い:山形事務局 tel/fax 023-645-0373、山形テルサ、八文字屋本店 MUSIC STORE、ぎゃるり葦

主催:ケイタケイ's ムービングアース・オリエンツフィア 白鷹共催:白鷹町教育委員会、白鷹町文化交流センター事業企画委員会

協力:NPO 山形の音楽活動を応援する会・Mプロジェクト、檜団69/07、楽天夢座 ほか 助成:芸術文化振興基金

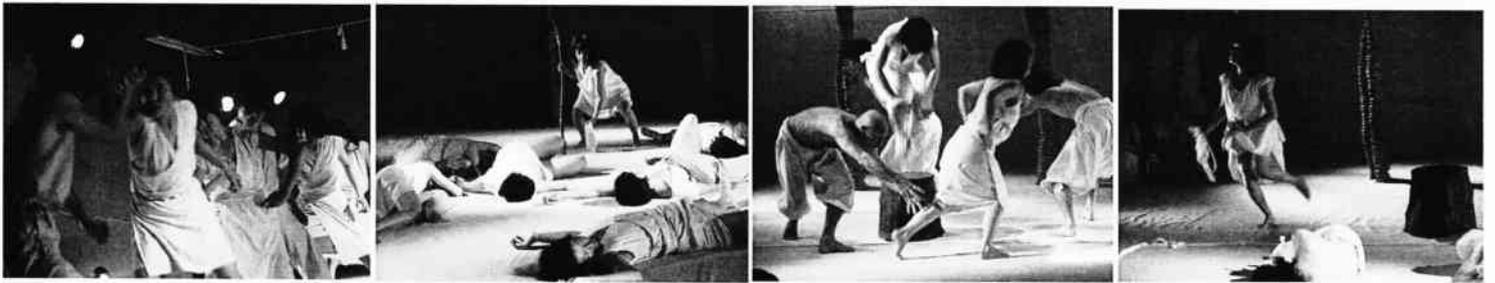
独自の表現を伐り拓き続け、世界で高い評価を受けるケイタケイと仲間達による注目のダンス・パフォーマンス——踊りの種子を、創作の種子を植える旅！

現代のダンスやパフォーマンスに、あまり馴染みのない方にも、いや、そうした人にこそ出会って欲しいこの舞台。本作に登場する人物/存在を挙げれば、民話的でさえある、夢のような物語が目には浮かびます。杖をついた女振付師(じつは白兔)、7人のダンサー(じつは若き農民)、禿頭と長髪の木こり(滑稽で不気味な)、うたう風の精、息を吐く太陽…などなど。

絶対君主のような振付師が、次々と無理難題の命令をダンサー達に投げかけます。たとえば、「あんたの顎であんたのおじいちゃんを語ってごらん!」「あんたたちの指で暗闇を出してごらん!」時には鳥の踊り、自転車の踊り、雷の踊り、満月の踊り、熱いフライパンの踊りなど、奇想天外な命令の数々——。

全身で必死に応えようとするダンサーは、田畑で悪戦苦闘する農民、あるいは労働者のようです。やがて、悪だくみする者によって、捕らえられる運命にある白兔。そんな状況にあっても、ひたむきに種子を植えつづける農民たち。列になって、リズムカルな数え唄とともに。

踊りの創作の現場は、天候や運命に翻弄されながらもたくましく創造、格闘する農民のようだと、作者はかつてニューヨークで夢想しました。メルヒェン的であり、即興性と物語性がゆたかに躍動するこの類いまれなパフォーマンスは、きっとあなたの記憶や想像力を無限に刺激することでしょう。どうぞお見逃しなく!



彼女は魂の扉をたたき続ける。どうして、しばしば重々しく、タケイによるとたくましく真実になるのか。
——ジョウン・ロス・アコセラ (ダンスマガジン)

おどろくほどオリジナルで、単純と輻輳が同居。かつ重力の法則のように圧倒してくる。(ワシントン・ポスト紙)

◎LIGHT シリーズとは

1969年、ケイ タケイとNYの多国籍の学生仲間たちとの創作からはじまったムービングアース「LIGHT シリーズ」。ひとつの章が独立しながらも、延々と連なる 32 章をこれまでに発表。それは根源的に、ひとつの作品では踊りの魂と感覚は完結できないというダンスの宿命をもって、世界中で終わらない旅を繰り返してきました。40年の節目にあたる昨年、日本未発表作をはじめ、現在のメンバーとともに再び創作を開始。「LIGHT シリーズ」をもう一度! に、ご注目ください。

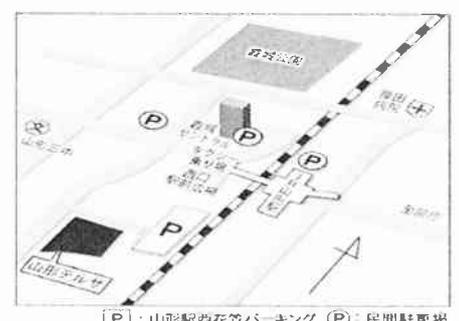
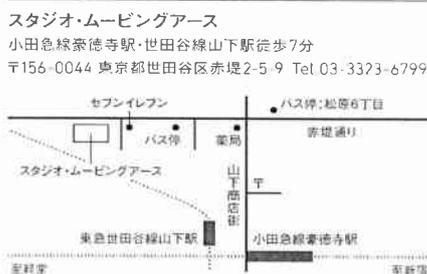
◎ひょうたんから音楽!

時空間を自在に練り、拡げるライブ・エレクトロニクス演奏の音は、そこかしこの「ひょうたん」から魔法のようにダイナミックに鳴り響きます。迫彰一郎は、作曲家、演奏家であり、ひょうたん大王の異名を持つ、ユニークなサウンド・システムを生み出しています。

ケイ タケイ Kei Takei

舞踊家、振付家。ケイ タケイ's ムービングアース・オリエンツフィア主宰。1969年「LIGHT, Part 1」にてニューヨーク・デビュー。これまでシリーズ全32 Partを創作、世界各地で公演。1979年と1985年日本招待公演(文化庁、日米交流基金招待)。「24時間 LIGHT」(丸一日かけた移動公演)を、米国ミネアポリス、東京、ベルリン、英国ウェールズにて上演。1992年帰国。近年はイスラエル、サンフランシスコ、NY、インド、オランダでも公演。2008年アメリカン・ダンス・フェスティバル 75周年記念にてソロ公演。さまざまな表現者との協同作業も多い。2009年から「LIGHT シリーズ」を再スタートした。これまでにフルブライト・スカラシップ賞、ナショナル・エンパイロン芸術助成金、グッゲンハイム・グラントほか振付賞等を授与。日本舞踊批評家協会賞(1979)、Meet The Composer 賞(1991)、第27回ニムラ舞踊賞(2007)を受賞。障害者との創作グループ「月の石」も主宰している。

●白鷹では朝日連峰を背景に、芝生の上で待望の野外公演(カンパ制)を全天候決行! 敷物や、雨天の場合は雨具などを各自ご持参ください。



山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝仮換地24街区1
0238-85-9071 <http://www.ayu-m.jp> 駐車場あり

山形テルサ 山形市双葉町1-2-3 023-646-6677
<http://www.yamagataterrsa.or.jp/>